

政治とメディア I

科目ナンバリング POL-109

選択必修 2単位

鬼頭 誠

1. 授業の概要(ねらい)

新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・SNSといった「メディア」は報道の道具・手段です。メディアを使って報道を担うのが取材編集記者(ジャーナリスト)であり、メディアを通じて政治に関係する情報を伝えるのが政治記者です。

授業では、かつて政治記者であった教員が、その体験を踏まえて、政治を報道する過程で発生する政治の担い手(政治家・官僚・利害関係者)とのかかわり、メディア自体が政治に及ぼす影響、アメリカ・中国における政治メディアの動向、メディア経営、政治メディアの変遷等を解説し、受講者に考えるべきテーマを提示し、質疑します。

「政治とメディア」で考える分野は、メディア関連の就職活動において、また一般の公務員や、警察官・消防官・自衛官などの試験にもかかわっていますから、就活も意識しながら勉強を進めます。

2. 授業の到達目標

実用的で発展的な授業内容の理解と応用ができる
民主政治の下における主権者国民としての意識が向上する

3. 成績評価の方法および基準

授業内評価(レポート・発言等)と期末試験で総合評価

4. 教科書・参考文献

参考文献

芹川洋一・佐々木毅 著 『政治を動かすメディア』(2017年)2,400円+税 東京大学出版会
日刊の新聞各紙、月刊『中央公論』ほか

5. 準備学修の内容

授業でもらったプリントを中心に、授業のあったその日のうちに習ったことを確認しておきます。復習が中心です。この積み重ねを着実に実行することで、授業内試験(期末試験)への対策になります。

6. その他履修上の注意事項

シラバスは目安で、適宜変更することがあります。政治・外交・憲法担当の新聞報道経験者として、日々の新聞を活用した授業を心がけます。

授業中の行動はすべて就活に直結すると考えて、積極的、現実的、前向き、そして礼儀正しく授業に臨みましょう。

毎回授業の様子は録画され、LMSで視聴することが可能です。

7. 授業内容

- 【第1回】 「政治とメディア」の全体像について概観する
- 【第2回】 政治から見た「メディア史」
- 【第3回】 メディアから見た「政治史」
- 【第4回】 「活字文化メディア」の政治への影響
- 【第5回】 「音声メディア」の政治への影響
- 【第6回】 「映像メディア」の政治への影響
- 【第7回】 「ネットメディア」の政治への影響
- 【第8回】 メディアの偏向
- 【第9回】 政治のメディア化・政治戦略としてのメディア
- 【第10回】 危機対応政治におけるメディア
- 【第11回】 選挙政治とメディア
- 【第12回】 アメリカン政治メディアの影
- 【第13回】 民主政の外にある中国の政治メディア
- 【第14回】 政治メディアとメディア経営
- 【第15回】 まとめと試験
(注)以上の各テーマは、時々の動向により、変更場合があります。